

避難施設への再エネ・省エネ設備導入事例（社会福祉法人カルスト会）

避難施設に防災・減災に資する再エネ設備と省エネ設備等を導入し、常時CO₂削減を実現しつつ、災害時には避難施設としての機能を発揮する。

常時自家消費



太陽光発電設備 (61.6kw)

災害時
電源確保

電源供給



蓄電池 (67.6kwh)

平時
ピークカットに利用

常時自家消費

- ◆ 常時
ディスプレイ
避難場所表示
- ◆ 夜間（平時・災害時）
街灯点灯



小水力発電設備 (0.2kw)



LED照明

- ◆ 蛍光灯から切替
↓
CO₂削減

○災害時に周辺住民の避難場所に指定されている特別養護老人ホームに、太陽光発電設備、蓄電池、小水力発電設備、LED照明を導入。

○常時は太陽光発電設備、蓄電池、LED照明によりCO₂を削減、災害時は太陽光発電設備、蓄電池により電源を確保。

○小水力発電設備で夜間は街灯（LED照明）で避難場所の入口を照らし、常時避難場所である旨を表示し住民を誘導。